

7月の経常黒字最大

2.7兆円原油高一服、訪日客増

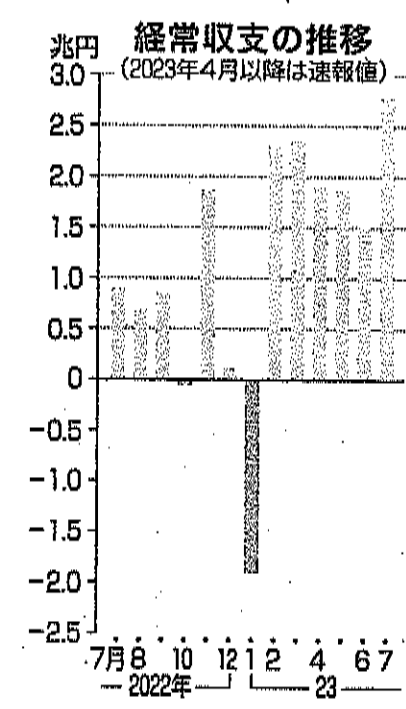
財務省が8日発表した7月の国際収支速報によると、海外とのモノやサービス、投資の取引状況を示す経常収支は2兆7717億円の黒字だった。黒字額は前年同月の約3・1倍に膨らみ、比較可能な1985年以降では7月として最大となった。黒字は6カ月連続。原油高の一服で輸入額が減少した。訪日客が増加し、旅行収支の黒字額が過去最大となったことも寄与した。

経常収支の内訳を見る。輸出から輸入を差し引いた貿易収支が682億円の黒字だった。黒字は2カ月連続。輸出は0・6%減

円で、石炭や原油の輸入額が大幅に減った。訪日客が日本で使った消費額から、日本人旅行者の海外での消費額を差し引いた旅行収支は3368億円の黒字。新型コロナウイルス対策の入国制限緩和に伴う訪日客増で、黒字額は比較可能な96年以降で単月として最大だった。

旅行や貨物輸送を含むサービス収支は5355億円の赤字だった。海外へのインターネット広告費の支払いが増えたことが赤字の要因となった。

海外投資で生じた利子や配当の動向を示す第1次所得収支の黒字額は15・7%増の3兆5781億円。



の8兆5558億円となり、海外経済の減速で半導体製造装置や電子部品の輸出が落ち込んだ。輸入は13・3%減の8兆4876億